

脳神経外科領域疾患の遺伝子解析研究にご参加いただいた皆様へ

本研究は、下記の医療機関においてご提供いただいた試料および情報をもとに実施しております。

東京大学医学部脳神経外科および連携医療機関（2018～2020 年）

杏林大学医学部脳神経外科および連携医療機関（2021～2024 年）

* 主な連携医療機関：社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院、社会医療法人寿会 富永病院

このたび、研究の進行に伴い、東京大学大学院新領域創成科学研究科ならびに学校法人順天堂 順天堂大学医学部精神医学講座を共同研究機関として追加することとなりました。今後、皆様からご提供いただいた試料および情報は、参加辞退のご連絡をいただかない場合に限り、当該共同研究機関においても研究目的の範囲内で利用させていただく予定でございます。詳細は下記の内容をご確認ください。

課題 脳神経外科領域疾患の遺伝子解析研究

研究責任者（氏名）中冨 浩文

所属 国立研究開発法人理化学研究所 CBS 神経動態医科学連携研究チーム

機関長 理事長 五神 真

概要（目的、利用方法 を含む）

本研究は、脳神経外科領域（脳血管障害、てんかん）の疾患において原因遺伝子または疾患感受性遺伝子、修飾遺伝子を明らかにして病態を解明することを目的としています。脳血管拡張を呈する「脳動脈瘤」、血管が腫瘍化する「脳動静脈奇形」、機能的疾患としては、難治性てんかんを発症する「海馬硬化症」、片側大脳が巨大化する「片側巨脳症」を対象疾患として設定しています。脳神経外科の特色として生検、手術、剖検の際に病変摘出のために得られる組織（腫瘍組織、脳組織および血管組織を含む）が確保できる点が挙げられます。これらの組織を、採血により採取される血液と合わせて解析することで、病態発生に関与する体細胞変異や遺伝子発現パターンの検出を進めています。

1. 本文書の対象となる方

東京大学医学部脳神経外科、杏林大学医学部附属病院脳神経外科とその連携医療機関において脳血管疾患の診療を受け、本研究への参加に同意された患者の皆様を対象としています。

2. 研究に用いる試料・情報の種類

組織検体由来の空間的遺伝子(mRNA)発現データ

該当する症例の病態に関する臨床データ

個人を特定できる情報は提供されません。また、提供される情報は加工されており、個人が特定されることはありません。

3. 提供方法

データは法人向けクラウドコンテンツ管理サービス (Box) を用い、有効期限付きパスワードを設定して共有いたします。上記方法での共有が困難なデータについては、暗号化した外付け HDD にて、アクセス権限を限定した上で直接共有いたします。2026 年度中にデータ共有の開始を予定しています。

4. 外部機関への試料・情報の提供

下記の機関を共同研究先に追加し、2. に記載したデータを提供いたします。

国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科

研究代表者：鎌谷 洋一郎

研究課題名：脳血管のゲノム解析と血流解析の統合による脳血管障害発症に至る軌跡の解明と診療応用を目指す研究

学校法人順天堂 順天堂大学 医学部 精神医学講座

研究代表者：加藤忠史

研究課題名：ヒトゲノム・遺伝子解析研究 精神神経疾患の原因解明および診断法・治療法の開発に関する研究

理研および共同研究機関で倫理審査が承認となり、研究実施の許可が下り次第、提供を開始いたします。

5. 研究期間

2019/05/20 ～ 2029/03/31 まで

*2029 年 3 月末以降も研究期間が延長になることがございます。

6. 参加の拒否について

撤回したい場合は下記の問い合わせ先へご連絡ください。なお、撤回した場合でも不利益を被ることはありません。同意が撤回された場合には、この研究で得たあなたの個人情報や検査データは、直ちに個人が特定されないかたちにして削除されます。ただし、論文等で既に研究成果が公表されている場合、個人情報や対応表が廃棄されている場合は削除できないこともあります。

7. 問合せ先

脳神経科学研究センター 神経動態医科学連携研究チーム
チームディレクター 中富 浩文
hirofumi.nakatomi@riken.jp